

令和5年度本町の現状把握のための町民アンケートの意見に対する対応方針について

※町民アンケートの「御意見・御感想」について、その内容ごとに大枠でまとめ、その対応方針を記載しています。

資料 2 - 3

No.	御意見・御感想等	対応方針
「き」 築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく里		
1	今度、こどもが皮剥き間伐のボランティアに参加させていただく事になりました。どういふふうには森林が守られているのか、林業でどういふ仕事をするのかなど、知る上でとても貴重な体験をさせてもらおうのではないかと思います。	南小国町では子供が生まれてから南小国中学校を卒業する14歳までの子供達を対象とした木育活動を行っています。木育とは地域の林業や森林、自然環境のことについて幼少期から学び体験することで、この町で育つ子供たちの成長により良い影響となるよう促す取り組みです。保育園や小学校、中学校と連携して子供たちの成長に応じた木育のプログラムを計画し、各世代で楽しみながら体験授業を行っています。皮むき間伐もその体験授業の中のひとつです。これから子供たちの林業や自然への関心が少しでも高まるような取り組みを進めてまいりたいと思います。
2	小規模の農地の所有者は、今後どのようにして行くべきか分からない。また、子供に引き継がせることもためらう。	農業委員会では、第3者に農地の貸付・売却を希望される方の受付を、随時、農林課窓口にて行っております。いただいた情報は、定期的に町の広報誌やケーブルテレビ文字放送でお知らせしており、この情報をもとに借用希望者からの農業委員会へのお問い合わせもいただいている状況です。その後は、双方での話し合いとなります。手段の一つとして、ご活用いただければと思います。
3	農林業への補助金の見直しをお願いしたい。機械購入をしやすくする等。	農林課では農業や林業を担う方向けに「農業担い手育成事業補助金」や、「林業機械等導入事業補助金」を設置しており、町民の方のニーズに沿った補助事業となるよう、定期的に見直しを行っております。全てのご意見を取り入れることは難しいのですが、農林業の促進につながる補助事業になるよう、今後もニーズ把握にご協力いただければと思います。
4	・山林の手入れが余り行われていない様にみられる。 ・田畑の荒廃が見られる。 ・農業に関わる若い人が少ないと思われる。	今年度、町内の農振農用地の調査を行っており、対象筆ごとの現状と5年後の未来予想地図(目標地図)ができるようになります。今後、この地図をもとに、集落での話し合いや担い手の把握を行っていくことになります。農地荒廃の防止や新規就農者の確保につながる地図になるよう、取り組んでまいります。
5	国の政策らしいが、杉山全伐でなく、間伐をしていくべきだと思う。土砂崩れなどおこりやすくなるといっている専門家もいる。	この地域に育つ「小国杉」は太平洋戦争時にその多くが伐採され、その後造林された約80年生の杉が現在伐採期を迎えています。これまで適切に間伐されてきた木材は収穫期ともいえる状況ですが、山林の全伐はそのまま放置された場合災害のリスクが高まるとされ、造林などの適切な管理が欠かせません。しかしながら山林の伐採に関わる林業就業者も減少しており、造林やその後の管理まで行き届いていない状況が続いています。そのため、南小国町では「自伐林業」を推奨しており、小型の機械を使い小規模に間伐などを行うなど、大規模な伐採や開発は極力控え、地域に住まう方々の手で適切に山林を管理し防災と生産の両立を図れるよう、研修や補助金制度などを設けながら推進して参ります。
6	最近では、全国的に草原や森林を切り開き、大規模な太陽光パネルを設置している事例が増えており、阿蘇の外輪山付近でも設置されている所がある為、環境保全や景観保護の観点から、規制が必要だと考え。町の美しく景色を保つ為にも検討してほしい。	大規模な太陽光パネルの設置については、阿蘇管内でも既に、草原や森林を一部開拓され設置されたといったところもあり、環境保全や景観維持の観点からも、新たな開発事業者の参入を抑制したいと考えているところです。そういった中で、現在、環境省と協議を行いながら、町内にある草原部分を新たに国立公園区域として設定するように進めています。国立公園として認定された地域については、法的な保護を受けるため、これまでよりも厳しい規制が行えるようになる予定です。
7	町が率先して町内、町外、外国人労働者なども含めた労働者の確保や紹介をすすめてほしい。	人手不足の問題は町の喫緊の課題として認識しておりますので、関係機関などと連携して町としてどのような取り組みができるのか検討して参りたいと思います。
8	若い人が増えていない。もっと町の魅力を県内外にアピールする。若い人が集まる事を考える。	町の広報・営業プロジェクトチームを立ち上げ、関東や関西、福岡などで町の魅力をPRする営業活動を行っていますので、今後もそれらの活動を充実させていきたいと思っています。

No.	御意見・御感想等	対応方針
9	全国的にメガソーラーによる景観が災害リスクの問題が続々と出てきている。それを行っているのは国外企業ともいわれている。メディアでもその件についてほとんど取り扱われない。水資源についても同様で、営利目的で進出してくる企業等の対策を早急にかつ本気で考えなければならないと感じる。当町の景観と、特に水資源については、絶対に守らなければなりません。所有者の高齢化など管理できなくなっている土地や資源は狙われる対象です。町として何か対策を講じるべきです。	町としては、大規模な開発等については「景観条例」、井戸や温泉の掘削については、「住みよい環境の里づくり条例」を整備しており、関係機関への手続と併せて、町への届出による内容確認等の対応を行っています。 しかし、届出の対象とならない不動産の取引等については、把握が出来ていないのが現状です。いただいたご意見については、今後検討を進めて参りたいと思います。
10	学校でも自分の町について学ぶ、見つめ直す機会があったり、また、担い手を町内から募集して教えていくなど、良い取り組みだと思う。伝統文化の継承は続いていると思う。	里山自然体験活動、民泊農業体験、まちインターンや「町あるき文化手帳」等を活用したふるさと学習を通して、学ぶことを自分の将来につなげながら、自分らしい生き方を実現していくための力を育む取り組みを行っています。 また、各学校で地域の伝承芸能をとらえて地域の方々とつながり、文化や歴史等を学ぶ取り組みも行っています。
11	少子高齢化が進む中で伝統文化を継承することの意義は？	本町の自然、文化、歴史、人から「ふるさと」について学び、地域の人々とのふれあいを通じて、地域や人のすばらしさを知る。そうした学びの中に伝統文化の継承がなされていくと考えています。少子高齢化は進んでいますが、地域の方々から南小国町の文化・歴史を教わり、伝えられていくことが、豊かな心と郷土愛を育み、南小国町の未来の作り手を育成するものとして取り組んでいます。
12	熊野座神社や中原馬頭観世音へ行きやすく整備してほしい。	通行面等の環境整備については、地元管理者等からの要望があった場合、例規に即した補助等を行いながら、文化財の保護、整備に努めて参りたいと思います。
13	毎年10月16日開催の「きよら祭り」は土日に変更されないか。平日の場合、祭り会場学校の児童の授業に支障が出るのでは。	「きよら祭り」は、毎年10月16日に秋の収穫を祝う南小国町の伝統的なお祭りです。例年、小中学校は午前中授業となり、ほとんどの児童生徒が午後から祭りに参加しています。 会場学校においては、10月16日は「きよら祭り」の日として、快く会場を提供していただいています。授業時数等に問題はなく、1年に1回、子供たちも祭りを楽しむ日として心待ちにしているところです。
14	年末年始やお盆・GWなど、特に主要沿線沿いにゴミのポイ捨てが目立つ。何度か拾ったが手に負えなかった。	ご意見ありがとうございます。啓発・周知とともに、パトロールを行いたいと思います。
15	道路も整備されて空き缶など投げ捨てが少なくなった。	ご意見ありがとうございます。空き缶などの投げ捨てについては、今後も啓発・周知を継続していきます。
「よ」 寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切にし、一人一人が誇りを持ち、多様な生き方を尊重しあえる里		
16	町長ともっと交流の場をつくってほしいです。	今年1月、2月で計4回まちづくり懇談会を開催し、町長との懇談の場を作りました。今後もミニ懇談会など町民の皆さんが参加しやすい懇談会の場を作りたいと考えています。
17	老人がつどえる場所をJA跡地に作ってほしい。夜は若い人が利用する。	農協の跡地に関しては老若男女が集える交流の拠点となる施設なども考えております。これからワークショップなどを開催しながら意見の集約を進め計画していきます。
18	老人や保育園に行くまでの子供の公園がほしい。おおげさなものではなく気軽に行ける様な所。箱物ではありません。芝(ブランコ、すべり台)があり、東屋ぐらいかな。市原小学校前の空地(駐車場)。もちろん駐車場もあった方がいいです。	農協の跡地に関しては老若男女が集える交流の拠点となる施設なども考えております。例えば屋根付きの公園、全天候型の子育て施設など他市町村の施設等を参考にして今後意見の集約を進め計画していきます。

No.	御意見・御感想等	対応方針
19	空き家を利用して町として協力をしてほしい。町の魅力を発信してほしい。	空き家といえて、個人の財産であるため、利活用を行うためには、所有者本人の意向が必要です。 現在、町としては、「空き家バンク」制度を運用しており、所有者の方から承諾が取れている空き家の紹介やマッチングを進めています。 所有されている空き家のことであれば、是非、一度お問い合わせください。
20	市原周辺は交通の便がよいのでバスが通らない地区ににじバスか乗合タクシー等をやって頂くと助かると思います。	公共交通が通っていない空白地区が存在することは町の課題として認識しております。公共交通空白地区へのにじバスの路線追加や新たな交通施策等も含め、より良い交通手段を検討して参ります。
21	福祉施設もあり、デイサービスなどのボランティア活動を通して、交流する機会が持たれている。	今後もボランティアを通した生徒と高齢者等との交流を継続していきますので、多様な活動へのご協力をよろしくお願いします。
22	子育て支援等に関しては、内容も充実していると思いますが、地方特有の高齢者の不便さ、特に買い物や通院が不便です。	高齢者の移動の困難性に鑑み、タクシー利用助成やにじバス等の事業を実施していますが、移動範囲の制限など課題も多い状況です。事業改善も含め継続的に取り組めます。
23	どこの自治体も同じだが、交流というと「子ども」や「高齢者」というキーワードになりがち。働き世帯の交流を考えた方が活性化するのでは？高齢者対応においては、福祉課と社協が連携をとられていて素晴らしいと思います。	住民同士の関りの希薄化による地域コミュニティの衰退は、全国的な課題でもあります。本年度から町のスポーツレクリエーションが月1回開催され、毎回100名弱の方が参加しています。今後も関係機関との連携を図り、異世代交流の機会を計画していきます。
24	まだまだ元気な高齢者がいるはずだが、活用できていないと感じる。	高齢者の就労機会の確保策として、「シルバー人材センター」や「しごとコンビニ」の事業を実施していますが、人材確保が課題であるため事業周知を進めてまいります。
25	JA跡地に芝や遊具、東屋がある公園がほしい。	農協の跡地に関しては老若男女が集える交流の拠点となる施設なども考えております。例えば屋根付きの公園、全天候型の子育て施設など他市町村の施設等を参考にして今後意見の集約を進め計画していきます。
26	町インターンとかがあって、とてもよい。	「まちインターン」は、キャリア教育の視点を踏まえて実施している「きよら学」の推進⑧の取り組みの一つです。 町を教材としたチャレンジ教育で、毎年、中学2年生が挑戦しています。今後も引き続き実施し、学ぶことを自分の将来につなげながら、社会の中で自分の役割を果たしつつ、自分らしい生き方を実現していくための力を育めるようバックアップしていきます。
27	今年度から始まった「MOST」の取り組みは、スポーツの振興や交流する場所としてとても良いと思う。	「MOST」は町民に新たなスポーツ活動への参加の場として、町スポーツ協会と町スポーツ推進員が新たに取り組んだ活動です。年間を通して、複数の種目を参加団体で競います。老若男女問わず、幅広い住民同士の交流を図るとともに健康の増進と生活の活性化を目的としています。 今年度の活動実績を踏まえながら、今後の活動について検討して参りたいと思います。
28	今年から制服や体操服、通学カバン等の支給があり、とてもありがたい。	町の子育て支援の一環として、中学校入学生とに対する制服および体操服等の中学校入学準備品の全額補助を実施しました。 新入生徒が安心して中学校生活の一步を踏み出す支援として実施しています。
29	小児科など病院がない。子育て支援とは？子育て支援を保護者へでなく、違う使い方もあるのではないかな。	ご意見ありがとうございます。今後子育て支援について多角的な視点で考えてまいりたいと思います。
「ら」 ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ごせる里		
30	りんどうヶ丘小学校体育館が避難所になっているが、暑さ対策は大丈夫だろうか。	複数台扇風機を用意していますが、暑さ対策を含め、避難を希望される方が避難所の環境を理由に避難をためらうことがないよう、今後も避難所の環境整備に取り組んでまいります。

No.	御意見・御感想等	対応方針
31	災害がおきたら不安です。簡易トイレや、段ボールで作れるトイレを地域で作っておいたり、全国の備えの仕方を取り入れて、飲水が集会所に、どのくらい確保しているとか、ひとめで確認できる用紙を配布したり、地域の人たち一人暮らしの人たちを、だれが、声かけて、一緒に避難するとか明確化したほうがいい。耳が遠い、足が悪い人への対応をはっきりさせたほうがいい。手すりがなかったり、坂だったり、不便な段差があるお家が多いので、見てまわったり、手すりを付けたりの対応を前もってやっておく必要がある。	町から自主防災組織等に対して防災訓練を補助するための職員を派遣しており、非常時持ち出し品や備蓄品の用意などについても助言をさせていただいております。 また、子どもやお年寄り、障がいのある方などの避難行動の支援に関しても、自主防災組織と消防団などが協力してスムーズな補助を行えるよう、助言を行ってまいります。
32	各自治会に配布された非常食が一日分では少ない気がする。	自主防災組織に配布した非常食につきましては、町の備蓄品のうち賞味期限が1年程度となったものを、今後の参考としていただくためにサンプルとしてお配りしたものです。 今後少量ではありますが配布していく方針ですので、自主防災組織の訓練などで試食していただき、ぜひ自主防災組織やご家庭で用意する非常食の参考にしていただきたいと考えております。
33	地区毎に自治会等の組織があるけど、人数と年齢の関係によるのか、防災意識に温度差があり、まとまりが悪い地区もある。	町から自主防災組織の訓練等を補助する職員の派遣を行っておりますので、自主防災活動が活発に行えるよう、引き続きお手伝いしてまいります。
34	災害時、取り残される場所がある。防災に力をいれるべき(町だけではなく、個人の家でも3日、1週間生きる備蓄)	町の備蓄する非常食につきましては数に限りがありますので、ご家庭での備えの重要性についてご理解いただけるような啓発活動を行ってまいります。
35	災害時の避難場所における、ダンボールベッド等の備品が無いし少ない。独居高齢者が等持参して避難できるわけがない。	町の備品は数に限りがありますので、余裕をもって避難できる方には寝具等の持参をお願いしておりますが、荷物を持った避難が困難な方などに対しては貸出せる段ボールベッド等をご用意しております。
36	山や川から離れている避難場所がない。役場や市原小は川に近い。板張りではなく靴を脱いで休める避難場所がない。JA跡地に水害にも地震にも対応でき、避難場所にもなる建物を作っておくといいのではないかと思う	農協の跡地に関しては避難場所の機能も備えた老若男女が集える交流の拠点となる施設なども考えております。今後意見の集約を進め計画していきます。
37	町のwi-fiの強化などあれば嬉しい	町全体の通信量は2024年現在、正常な範囲となっています。このため、帯域増幅は現時点では予定しておりません。 光ネットワークでご利用頂いているインターネット回線は、1Gbpsのベストエフォート型のサービスとなっています。ベストエフォート型とは、1Gbpsの回線速度が必ず出る訳ではなく、利用する時間帯・地区や、設置されているWi-Fiの性能等によって速度に変動が生じます。 このため、利用しているWi-Fi機器が古いものを使用していないかや、混雑する時間帯に利用していないか(夜8時～10時ごろ)をご確認ください。
38	道路の整備が進んでいない。たくさんの舗装の状態が悪い箇所や、カーブミラーが見えにくい箇所がある。また、町中心地から離れていると復旧も遅い。	道路の整備については、地元自治会等の要望を踏まえ、南小国町総合計画のもと優先順位や緊急性を考慮し整備を進めております。ご理解とご協力をお願いいたします。また、舗装の修繕やカーブミラーについては、毎年度対策工事等を行っておりますが、対応が遅れている箇所もあるかと思っておりますので、情報をいただければと思います。
39	大観峰トンネルの実現を。また、日田方面の道路整備も。	大観峰を含む日田～阿蘇区間の道路整備について、その必要性等を町内外問わず広く認知していくことが重要であり、そのための協議会等の設立に向けて、関係機関等との協議を進めていきます。

No.	御意見・御感想等	対応方針
40	インフラの整備及び管理については、費用対効果の検証と将来に渡って本当に必要なものかを検討のうえ取り組んでほしい。	過去に建設された橋りょう等の各施設の老朽化が急速に進んでおり、維持管理費用の増大が懸念されており、上下水道・町営住宅も同様と考えています。今後の人口減少等を見据え、施設の廃止や統廃合も含め、また、議会とも協議のうえ進めていきます。
41	筑後川の上流部においても減災への取り組みが大切だと思う。河川に堆積している土石等の対策に力を入れてほしい。	減災対策として、県管理河川を中心に緊急性等を考慮し堆積土砂等の除去を実施しています。今後も河川巡視を適切に行い、地元要望等も踏まえて対策を進めていきます。
42	道に雑木が覆いかぶさって、雨の日や雪の日は通るのがこわい。	道路の管理上支障のある雑木等については、所有者の責任も踏まえた道路法及び民法の規定による伐採等を実施しています。全ての箇所を実施できるものではありませんが、必要であれば情報をいただければと思います。
43	好き好んで山で暮らしているのだが、渇水期に井戸水がでなくなることがあり、「水道」があればと思うが、上水道の敷設、整備、組織管理は小さな町行政で出来ることではなくジレンマです。	現在、南小国町簡易水道事業計画の全体見直しを行っています。その見直しについて、水道事業計画の範囲についても検討中です。水道整備ができるかどうかはわかりませんが、一度、役場にお越し頂き、場所の確認をさせて頂ければと思います。
44	災害時等、水のにがり等で使用不可になった事もあり、不便でしたが、現在、進行している、山水、井戸水等の資源が活用できると思います。	先だっでの調査においてはご協力を頂き、誠にありがとうございました。その上で、活用させて頂くなかでの整理を現在行っているところです。今後もご協力をお願いいたします。
45	交通弱者への対策は進んできた。水道事業をもっと強固なものにする必要があると思う。	現在、南小国町簡易水道事業の全体計画見直しを行っています。その中で、優先順位を考慮し、老朽化による更新、水源の枯渇による新たな対応、耐震化についても検討しており、必要な事業を年度計画として進めて行きたいと考えています。それらの事業は水道料金にも影響すると考えていることから引続き、検討を行っていきます。
「の」のびのびと学べる環境の中ですべての人が夢に向かって挑戦できる里		
46	夢チャレンジ補助金を活用してたくさんの起業がなされていることは素晴らしいことだと思います。一方で、お互いに挑戦を応援しているというより個にチャレンジしているというように感じます。横に情報共有機会や経営サポートなどその後の支援があると良いように思います	ご意見ありがとうございます。 夢チャレンジ推進事業補助金については、例年多くの方からの申請をいただいております。町内での起業支援として有意義なものになっていると感じております。 起業後の支援等については、商工会など関係機関と連携しながら、検討を進めてい参りたいと思います。
47	町や商工会などの連携がもっと活発になり、個人事業主や、新規参入事業者を含む交流ができれば良いのと思う。また、人にもよるが、新規参入者に排他的と感じる既存事業者もいる。町の将来を考えれば、町内で事業者を起こす事は素晴らしい事であるはなのに、大変残念に思う。現在は商工会のそれぞれの部会、観光協会や組合など、既存事業者のグループ活動で囲われているように感じる。そのような意識改革の場や情報発信をしてはどうか？	新たに起業された方や新規参入の事業者のフォローアップや交流ができるような体制作りについて、商工会や観光協会などと連携して取組んで参りたいと思います。
48	前年度の「夢チャレ」で起業させていただき、これをきっかけに農業にもチャレンジできています。今後も挑戦していきたい！	ご意見ありがとうございます。今後の更なる活躍を祈ります。
49	ドローン体験や民泊、職場体験などはこの町にしかできない。地域とのつながりを感じる授業などもあり、良い体験になっている。地域のことをよく学んでいるように思う。	「ドローン体験」や「農家民泊」もキャリア教育の視点を踏まえて実施している「きよら学」の推進⑧の取り組みの一つです。 ドローン操作技術を習得したり、町を教材としたチャレンジ教育を体験することで、学ぶことを自分の将来につなげながら、社会の中で自分の役割を果たしつつ、自分らしい生き方を実現するための力を育めるようバックアップしていきます。

No.	御意見・御感想等	対応方針
50	プレゼンテーション大会や町のこども会議など、子供たちの意見発表の機会があること、大人が子供のたちの考えを聞けることも良いと思う。	「プレゼンテーション大会」もキャリア教育の視点を踏まえて実施している「きよら学の推進⑧」の取り組みの一つです。これまで体験してきた活動や授業学んできたこと、自ら考えたこと等をICTを利用して自己表現を高めるために実施しています。今後も継続して実施し、子供たちの考えを発信していきたいと思います。
51	町内に塾の選択肢がなく、学習塾は町外へ行かなくてはならないので、英語塾など増えたと良い。	本町には、民間の学習塾がないため「公設 きよら塾」を開設し、学校以外の学習の場を提供しているところです。平成29年度から始まった「公設 きよら塾」は、一昨年度から指導者不在により休塾していましたが、今年度、小学5年・6年を対象に再開し、英語、算数、国語の指導を実施しています。きよら塾では「基礎の定着」を目的としていますが、算数検定や英語検定も視野に入れた学習指導も行っています。民間塾のように、受験対策を目的としたものではありませんが、学ぶ意欲、学ぶ楽しさを通して学習の定着に結びつけていきたいと考えています。
52	集落的に子供が少ないので、よくわからない点が多い。子供たちを見かけない日が多いため、今は親しみ感がない。	児童生徒の学習の様子や活動の場面を広報誌やCATVで周知しております。子供たちの輝く姿を是非ご覧ください。また、地域学校協働活動において地域の皆様方にご協力いただき、学校活動に参加いただく場面がございます。農業、林業、昔からの習わし、読み聞かせ等、皆様方が培ってこられたご経験等を児童生徒へ語り継ぐご支援をいただき、地域の皆様方と親しみやすい関係を築いていければと考えています。
「さ」 再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる豊かな暮らしを実現できる里		
53	ペレットストーブの燃料などに使われていていいと思います。	現在南小国町ではペレットストーブ及び薪ストーブの設置にあたっては補助金制度を設け、公共施設や一般家庭への普及を進めております。南小国町は令和6年3月21日に「バイオマス産業都市」に認定され、これらの計画に基づいて、今後ますますの木材等のバイオマス施策を推進することとなりました。地域の木材や資源を最大限活用できるよう、また災害時の電気や熱として地域内でエネルギーを生み出せるような様々な事業を展開してまいります。
54	地域協力隊の人の活動などで、木材の新しい使い方などを目にするのは増えたと思う。	現在南小国町で活動する「地域おこし協力隊」のうち3名が小国杉に関わる活動を行っています。それぞれが小国杉の活用や認知度向上、林業の担い手として取り組みを行っていますが、様々な場面で小国杉や南小国町の林業が紹介される機会が増えてまいりました。今後とも地域おこし協力隊などの地域外から移住されてくる方々と地域内で活動をされている方々との連携をますます深め、南小国町の林業の活性化に向けて取り組みを進めてまいります。
55	一部の方だけが活用しているような感じがする。活用するにあたり分からずにいる方が多いと思う。	各種補助金につきましては、毎年各課局の補助金一覧を作成し全戸に配布・町HPに掲載しております。今後も分かりやすく多くの方に周知に取り組みたいと思います。
56	施策として進んでいる事案もあるのだろうけど、顕著に現れているかという、そうでもない気がする。(具体的に何をどうしているかという情報が関心がないと入ってこない)	各課局の主な施策については、第4次南小国町総合計画に係る実施主要事業の紹介を町HPに掲載しております。今後もより多くの方に情報発信を行って参りたいと思います。
57	太陽光の設置箇所として、学校、体育館、公共施設などまだあるのでは。	太陽光等の再生可能エネルギーの導入は、地球温暖化や大気汚染といった環境問題への貢献につながると考えますので、今後、導入について検討していきたいと思っています。
58	陣痛タクシーがない。陣痛が来た時不安が募るばかり。木材を使用しても活用出来ていない。例えば、役場に置かれているベビーサークルは何のために使うのか分からない。入れ口がないし、ベビーを置くのにも一苦労であり、母親を気遣っていないように思える。	ご意見ありがとうございます。今後子育て支援について多角的な視点で考えてまいりたいと思います。

No.	御意見・御感想等	対応方針
「と」共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里		
59	南小国は町の手当てが分厚いので、町外から住む人が増えているのは感じるが、町民になる以上誇りをもって町政に協力して生活してほしい。	町民の皆様のご協力により成り立つ事業や制度は多くあり、日ごろのご協力に大変感謝いたしております。 今後たくさんの皆様からお力添えをいただけるような、また、南小国町民であることを誇れるような魅力あるまちづくりを進めてまいります。
60	町内で活動する人も含め、今や未来の南小国町のために活動している方々がいて、共に活動などで知れて良かったです。	今後も様々な取組等について発信していきたいと思います。
61	空き家バンクの賃貸物件が増えていくと、もっと人口も増えると思う。	一般的に、空き家を貸し出すためには、所有者がトイレや浴室などの水回りも含め、借りの方が使える状態までリフォームを行う必要があります。結果的に、所有者が負担する費用が大きくなるため、「空き家バンク」の賃貸物件があまり増えない状況にあります。 そのため、現在、町としては、所有者から空き家を一定期間借り上げ、改修等を行い、移住を希望される方などに貸し出す取り組みを進めております。
62	観光客等から知らされる南小国の観光地があつたりする。まずは町民にも知らせる事が大事ではないだろうか？	町の観光情報の発信について、観光協会等とも連携し更に取り組んで参りたいと思います。
63	生鮮食品の買い出し等が難しく、高齢者には住みにくい町だと思う。今後、ひきこもりの高齢者も多くなるのではないかと思う。	高齢者が定期的集まる「通いの場」づくりを推進しており、各集会所での立上げ支援を行っています。また、社会福祉協議会ではサロン活動も行っておりますのでご相談ください。
64	人の往来はあるが実感として感じない。県道南小国波野線等の完成により人の流れを進めてほしい。	県道南小国波野線は、現在事業休止となっておりますが、地域にとって大変重要な道路整備だと認識しており、事業の再開に向けて熊本県と共に関係者との協議を進めていきます。